

## <合格体験記>

こんにちは。関西大学経済学部1回生の[ ]です。私は1年浪人してから合格することができました。お恥ずかしながら、[ ]高校に通っていた頃はかなり怠けて3ヶ月勉強もせず通っていました。たのび現役生の時の受験でよい結果もふるえず、浪人することになりました。本を読んで、受験生の友には、私と同じ目にあつてほしくないのでは是非、下記で述べる勉強法を参考に勉強に取り組んでほしいと思います。

### <心構えについて>

まずは勉強の向き合い方(←気持ち)について話そうと思います。私はゲームが大好きでTV、スマホ関係なく様々なゲームで毎日遊んでいました。勿論、動画や配信を見るのも好きです。なので、スマホを完全に切り離して勉強に取り組むというのはかなり苦手でした。ゲームができないストレスもたまに、自分的にはあまり合わないかも...と考えるようになり、取り組み方を変えました。スマホはできるだけ長時間の配信や派山曲の入ったプレイリストを流し、ぼんやりしながらそれを聞いて勉強したり、毎日1時間と決めてTVゲームをしていました。(さすがにスマホのゲームアプリやSNS等は消しました...)つまり、やりたい事を我慢しなくても勉強はできるということです!

結局、勉強というのは毎日の積み重ね(=継続)が大事なのです! 十何時間も勉強するより「毎日の時間」と決めてその時間だけ集中して取り組みれば着実に学んだことが身につきやすくなります。できればスキマ時間も勉強に充ててほしいです。学習のアプリを暇な時にやっておくと毎日の勉強の習慣が付きやすくなります(テオリンゴさん)それに、スマホアプリの勉強から始めれば勉強に対してのハードルも低いので取り組みやすいです。

### <教科ごとの勉強法について>

ここからはそれぞれの勉強法についてお話ししたいと思います。先に共通点だけ述べると、「知識、語彙の暗記の積み重ねは大事」ということです。と本だけやる気が出ない日でも暗記は毎日かさず取り組みました。暗記だけでも3教科分こなせばかなり時間を食う(最初は特に)ので、勉強した感もでます... (笑) それに加えて過去問を2日に1回1教科、本を1週間のうち3回すれば1週間で1年分の過去問に取り組めたということになります。ただし、解くだけでなく正解・不正解の分析もやりましょう。解き、はなしはあまり身にならないので...

早め

では、取り組むべき教科から紹介していこうと思います。

[英語] → 英語力を身につけると国語の点数アップにつながります。何よりも点数の上がりにくい教科なので早めの中程度の点数が取れるようにしておくのと、日本史等の暗記科目のようにゴリ押しは不可能なのです。

① 単語、熟語の暗記 → 本を置いてボロボロになるまで使い込みましょう。覚えにくかったり苦手な所は付箋を貼っておいて随時確認できるようにしておくとい返しやすいです。

② 文法問題集を解く → 「Next Stage」という学校で購入した4択式の問題集を私は愛用していました。左が問題、右が解説という構成で、右ページの下に答えもあります。流木作業のレベルになるまで取り組み続ければかなり文法知識が身につくでしょう。  
(更に、過去問で分からなかった文法事項を問題集でしっかり復習することで深く定着します。)

[国語] → まじめに本文を読むと時間が足りないため、一瞬で適確に答えのありそうな箇所を見つけることが大事です。英語のように問題集を取り組むというよりは過去問の分析と読み込みが必須になる科目です。

① 古文単語・文法の暗記 → 古文に関してはとにかく知識です。知っているだけで分かる問題が出てくることもあります。更に背景知識があると本文への理解度が高まるので「源氏物語」などのまんがや小説を読んで相関図をあらかじめ理解していると月々の受験生との差が広がります。

② 過去問の読み込み → 毎年問題に出る題材は違いますが、似たような言い回しやよく使われる文の訳を覚えておくことで、解く時のコストを大幅に削減できます。さらさら読んで訳せるようになるのは完璧です！

[社会] → とにかく暗記です！覚えてなきは何もできません... 文化や人物、時代など学校毎の出される予備問題を分析しておいて重点的に覚える必要のある範囲を絞っておくと尚良しです。

① 区切ってある程度覚える → 時代やページ数で範囲を決めて覚えていきましょう  
例) 1週間江戸時代を覚えてみる

② 全部ある程度頭しり込みしたら → 付箋を貼る等して確実に不要要素を消しましょう。  
「この範囲何も分からん...」って状態になるのだけは避けましょう。

③ 問題の分析 → 共通テストはともかく、私立校は出題される範囲に傾向や極力が見られることがあるので重点的に覚えておく箇所を作っておくと完璧です！

### <過去問について>

私は、過去問はボロボロになる程使い込むものではないと考えていました。しかし、インプットばかり重ねてアウトプットする機会がないと折角の知識量も空の持ち腐れとなることを知りました。それに、志望校が早い段階で決まっていれば、過去問をしっかりと分析して、あまり過去問を解かない受験生とかなり差をつけられます。過去問が親友になるくらい使い込みましょう!!(笑)

◦ 正解・不正解の理由の分析 → 不正解だけでなく正解もその答えを出せた理由も詳しく分析しよう。答えを出すための根拠を出す練習しないと当てず、ぼうで正解してしま、た時に更に自信ついても同じような問題が出た時に答えが分からなくなるかもしれない。いっても自信をもって回答できるように根拠と共に答えるくせをつけよう。

◦ 本文の読み込み → 解いて分析し終わ、ても終わりじゃないです! 英文・古文は読み慣れない人が大半なので少しでも早く読み進められるように解き終わった過去問を繰り返し読んで文章に慣れましょう。読むスピードが早くなると解き進めるスピードもあげられます

### <最後に...>

大学受験はとても長く過酷なものです。人生の分岐点でもあります。ず、とモチベーションを高く保ち続けるのも点数・判定を上げるのも難しいです。ですが、学んだ分は確実に身に付きます! 諦めずに学び続けてください。諦めた人から合格への道が遠ざかります。地道に毎日頑張りましょう!!

### <この塾で学ぶメリット>

- オンラインでしかやり取りしない → 塾に行ったり帰ったりの手間が省ける。
  - ↳ LINEで気軽に質問ができる  
(↳ zoomで画面共有しつつ、リアルタイムで解説してもらえる)
  - ↳ 飲食しながらリラックスできる場所で行き止まる
- 先生が優しすぎる... → めちゃくちゃ褒めてくれるし馬目な時も励ましてくれる(笑)
  - ↳ 基本的に怒らない人です。やるべきことをきちんとこなしていれば良い関係を築けます。
  - ↳ 休み連絡を気軽に送れる。  
(※ 事前に伝えること、学習スケジュールが遅れないように取り組もう)
- 個人をし、かり見てくれる → ほぼ友達感覚で接します... (笑) その位、先生といふのもラフに接してくれるしこちら側も接しやすいです
  - ↳ 毎日のように通話するので生徒への理解度が半端じゃないです。生徒毎に学習スケジュールを組めるしこちら側の融通もかなり効くので無理せず学習を続けられます。

### <実際に取り組んだ勉強法> (※あくまで一例です)

- 学習スケジュールを組む → 下校時間や学校の課題を考慮したり、その時の自分の学習レベルに合わせて組める  
(※最初のうちは身につけるべき知識が山程あるので課題も多いが、ある程度の学力がつけばゆとりを持ち、勉強スタイルにチェンジできます... (笑))
- ZOOMを使、てリアルタイムで解説 → 画面共有で問題やホワイトボードを写しながら、まるで学校で受ける授業のように、しかも随時質問しながら解説を受けられる。  
(※学校では質問しにくくても通話でラフに会話するので質問がしやすい)
- 課題を細かく設けてくれる → その子にあった課題や参考書を教えてくれる。  
(全員に共通の課題を与えるのではなく、それぞれに合った課題を相談しながら出してもらえるので無理なく課題に取り組める)